

令和5年度 野木区町政地区懇談会 ご意見要旨

令和5年9月22日（金）18時00分～ 野木会館

	意見等	回答（懇談会当日）
1	<p>空き家の問題について。様々な空き家があると思うが、その有効活用についてだが、維持管理を行ってくれる入居者に対して、無償で貸し与えることはできるのか。</p>	<p>町では、利活用が可能な空き家については「空き家バンク」へ登録いただき、全国に発信することで、野木町の空き家情報を見ていただき、次の利用者を見つけているのが現状であり、現在のところ空き家を無償で貸し出すことは行っていませんのでご理解いただきたいと思います。</p>
2	<p>① R4.9月の「議会だより」にてでているが、富士見通りの歩道についてである。木の根でポコポコになっており、自転車や歩行での通行が難しい。また夜は真っ暗であり、車の無い野木地区の方は通行する方がいるので、危ないと感じる。 舗装する予定があるのか、防犯灯はつけるのか。見直しを伺いたい。</p> <p>② 新4号へ抜ける直線道路はいつできるのか。完成したら安全で便利になると感じるが現状どうなっているか。</p>	<p>① ご迷惑おかけしているところでありますが、歩道、車道の状態については、担当にてパトロールしており、状態が悪く、緊急性があるところについては随時補修を行っています。一度にすべてできるわけではありませんが、特に歩道については計画的に改修をしていく必要があると考えているのでご理解をお願い致します。また街路樹の木の根が原因で歩道が傷んでるのはとのお話も聞いています。町では街路樹の落ち葉等の問題もあり、「街路樹等管理ガイドライン」を策定しており、こちらに則って樹種の選定、補植について歩道への影響も配慮し、計画的に行っていきたいと考えています。いつ頃までにとははっきりお答えできず申し訳ありませんが、順次行っていく予定であるのでご理解をお願い致します。</p> <p>② 現在古河市と共同で進めています。用地買収は99%程度進んでおり、開通予定は多少の前後はあると思いますが、R7年度末を目指しています。今後も協力して事業を行っていきます。</p> <p>【後日回答】 令和4年度末時点で、事業の進捗率は68%となっております。</p>
3	<p>町の活性化策とし、記念事業やひまわりフェスティバルを行うとあるが、やはり単発的では長続きしないと考えている。若い方も魅力があるところにはやってくると思う。町として魅力ある町にするにはどうしたらいいか、を考えて若い方を呼び込み、移住策にも繋げていったほうがいいと思う。たとえば、道の駅やショッピングモールができれば、町の魅力である農産物も販売でき、飲食店もあれば就職にも繋がると考える。魅力的な町にするためどう考えているか伺いたい。</p>	<p>現在町で進めてるのは「子育てしやすいまち」として、子ども教育の充実をPRしているところです。出生時と比較し、小学校入学時には、その当時の出生数を上回った児童が入学しているため、子育て世代の若年層の方が町へ移ってきていることがわかり、呼び込む施策を行った結果であると感じています。農業関係においても、各種施策を進めているところでありますが、農業だけで利益をあげていくのはなかなか難しい現状であり、有機栽培等も含め様々な施策を考えているところです。道の駅については、お客様が来るにはどうしたらいいか、地元農作物の販路拡大や立地等も含め調査・研究している段階ではありますが、町として全く考えていないわけではございません。移住定住関係では、少子高齢化で全体的な人口は減少しているなか、各市町間で人口の取り合いのような状況になっています。各市町で様々な魅力ある支援策はありますが、やはり魅力がないと住み続けていただけないため、引き続き町としては地に足のついたしっかりとした施策を展開していきたいと考えています。野木区でお世話になっているひまわりフェスティバルも30年以上も続く知名度の高いイベントであり、今後も継続していきたいと考えています。また継続できれば広く認知され、良い町だと思っただけの方には移住していただきたいと考えています。今後も様々な施策を研究させていただき、ご意見があれば承りたいと考えています。</p>

4	<p>① 野木神社の参道の側溝の掃除をお願いしたい。</p> <p>② キョーリン製菓から譲られた駐車場の上に鉄上の巻物がある。危険であるので撤去は可能かどうか。</p>	<p>① 野木神社の参道は町道の取扱いであると思うので、町で管理するところですが、側溝の清掃については基準があり、ある程度の基準に達した際に清掃を行っています。側溝蓋はスリット式であると認識しており、側溝内を担当にて確認し判断させていただき、対応できればと考えています。</p> <p>②キョーリン製菓の駐車場はフェンス付きで、当時防犯上の面での対応だったと思いますが、町で対応するところなので、担当で確認し必要ないと判断されれば対処させていただきますと思います。</p> <p>【後日回答】</p> <p>①一部側溝清掃実施済みであり、今後も状況を見ながら対応を検討致します。</p> <p>②東面は撤去済みとなります。</p>
5	<p>ゆーらんどを復活させてほしい。町外から転入してきたが、ゆーらんどが魅力的であった。維持費にお金がかかってくるのは十分承知であるが、クラウドファンディングでもいいと思う。少子化問題を懸念しているなら、清掃工場の後ろの公園も変化が有ってもいいのでは。アウトドアも盛んなのでキャンプ場でもいいと思う。町の良いところを減らさないでほしい。</p>	<p>ゆーらんどについては残念であり同じ気持ちであります。現在、外部の検討委員会も含めて検討し、様々な面からご意見を取り入れたいと考えているところであります。ありがたいご意見としてお受けさせていただきたく思います。結論がでるまでもうしばらくお待ちいただければと思います。</p>
6	<p>水辺の楽校関連事業について、現在ボランティアの方も大変な苦勞されていると思うので、シルバー人材センターから派遣してもいいのではと思う。</p> <p>野木町は栃木の玄関口でもあり、ひまわりや水辺の楽校、シモレンもあるため、活性化のために水辺の楽校に子どもたちも遊べるようなキャンプ場を作るのはいかがでしょうか。もちろん水辺の楽校の方と相談してのことだが、水辺の楽校にもっと投資した方がよいのでは。</p>	<p>渡良瀬遊水地に隣接する水辺の楽校は希少生物や植物もあり貴重な場所となっています。水辺の楽校の管理については、水辺の楽校応援倶楽部の皆様のご協力のもと行われています。また秋には応援倶楽部様と今後の活動や管理等の利活用について話し合いを行う予定でありますので、今後の展開を見守っていただきたいと思います。</p> <p>以前は周辺地域をお借りしてキャンプを行ったこともありました。今後も皆様のご協力を得て活動が広がっていければよいと考えております。</p>
7	<p>現状はバーベキューができるよう整備されているが、様々な活動を展開していくにも難しいところもある。トイレがなく、飲み水もない。はくうんの木公園まで連れて行かなければならない。</p> <p>キャンプ場として考えているところも竹林であるので毎年たくさん生えてくるので手を入れるのが毎年大変である。また水辺の楽校までアクセスする道がない。現状地権者の方にお借りしている土地であり、ご協力いただいで成り立っている。ボランティア人数も当時は50人いたが現在10人前後での活動でほとんどが70代である。倒木やイノシシの危険もあり、どうかしようと思うが思うように動けないのも事実であり、特に夜はイノシシも出没し、どうか対策を考えている。町にも水辺の楽校のそういった状況や地権者へのご理解ご協力についてよろしくをお願いしたい。</p>	<p>水辺の楽校応援クラブの皆様と、水辺の楽校の現状を共有し、今後の課題や活動等につきまして相談しながら協力させていただきたいと思っております。</p> <p>【後日回答】</p> <p>イノシシの被害対策につきましては、地域の農業振興や安全確保上大変重要と考えております。町内の鳥獣対策駆除につきましては、野木町有害鳥獣駆除隊に依頼しており、イノシシ用の箱わなやくくりわなの設置、パトロール等を実施し、捕獲強化に取り組んでおります。大字野木地区では、思川浄水場北側周辺に箱わな1基、くくりわな6基を設置、野木神社に箱わな1基を設置し捕獲に取り組んでいる所でございます。また、イノシシの息が多く確認されております渡良瀬遊水地では、令和4年4月に発足した「渡良瀬遊水地連携捕獲協議会」にて、関係4県でイノシシ対策を効果的に進めることとなり、今年度も濁水期になる11月からわなを設置いたします。設置数につきましては、渡良瀬遊水地全体で箱わな10基の内、町内は4基。くくりわな50基の内、町内は20基となっております。町といたしましても、引き続き、町民の安全を確保するとともに、イノシシの被害を防ぐため、イノシシの対応・対策などのチラシを作成し周知に努めます。また、野木町有害鳥獣駆除隊と連携を取ることはもちろんのこと、県や他市町の対応策を研究しながらイノシシ対策を講じてまいります。今後、イノシシ対策につきましては、地域との連携が必要となりますのでまいりますので地域の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。</p>